

# カトリック河原町教会だより

2014年11月

河原町教会 いま・昔 11月23日は 献堂記念日 です



現在、明治村に移築保存されている旧聖堂(当時の写真)「ザビエル聖堂」(1890年献堂)がシロアリ被害を受けて建て直され、新聖堂に移ったのは、今から47年前の1967年6月8日のことです。

『河原町カトリック教会 宣教百年の歩み』の中には、その日の様子が次のように記されています。

「昭和42年6月18日、古屋司教によって、新しく建てられた新聖堂の祝別式が行われ、多数の信者が列席した。その後旧聖堂でのミサが終わり、御聖体为新聖堂に移されて直ちに新聖堂最初の聖体降福式が行われた。大理石が光る白一色の祭壇右

の金色に輝く聖櫃(せいひつ)に赤い聖体ランプが灯り、以後ミサはこの新聖堂で行われることになった。ひとつの御像、もちろん聖母マリア、聖ヨゼフの御像も見られず、ステンドグラスが入るはずの窓は白い磨(すり)りガラスだけで、驚くほど明るい聖堂に、新しい時代の到来がまぶしく感じられた。献堂式はカトリック会館が入るロイヤルホテルの完成を待って行われるまで、5年半の歳月を待つことになる。」

新聖堂に移転の翌年の1968年11月24日にステンドグラスの除幕式があり、1972年にパイプオルガンを設置、同年10月には聖堂入り口に大きな聖母子像が完成しました。

そして、カトリック会館の完成を待って**聖堂祝聖式(献堂式)**が行われたのは1972年11月23日のことでした。



## 解放のとき

「そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見る。このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の時が近いからだ。」

(ルカ21・27~28)

この福音書の箇所の前の方では、世の終わりについて述べられています。イエス様は世の終わりとエルサレムの滅亡について話されているのです。紀元70年、エルサレムはローマの軍隊によって完全に包囲され、滅ぼされました。長年にわたって侵略されていたエルサレムは破壊され、神殿は壊され、ユダヤ人はエルサレムに居られなくなり、ローマ各方面・各地へと散っていったのです。しかし、その散らされた地域で信者を増やしていったことによりキリスト教は世界宗教にまで発展していきます。国を出た時、ユダヤ人たちは絶



## 洛東ブロック担当 花井 拓夫 神父

望めぬ状況に陥ったと思いましたが、散っていったおかげでキリスト教は広まり、ローマ帝国の国教となり、ヨーロッパから広がってやがて世界宗教へと発展を遂げるのです。

「世の終わりの時」と聞く時、全てが滅びる、真っ暗な世界を想像しますが、終わりではなく、その向こう側に全く別の光り輝く世界があることを聖書は示しています。「怖い」「暗い」ものでなく、その後に訪れる神様の世界は新しい光の世界なのです。世の終わりとは、その光に満ちた世界への移行の時なのです。

よく臨死体験の話の中で、光の国とか、光に向かって行った、という表現を聞くことがあります。御ミサの中でも「死者を光の中に受け入れて下さい」と祈りますが、それは終末の後の世界、光に満ちた世界への解放を示しています。私たちの信仰は希望に満ちているのです。

## 待降節黙想会のお知らせ

テーマ「**神の愛の証し**」  
あか



日時：2014年12月6日(土) 10:00~16:00

指導司祭：西 経一神父 (神言会)

場所：カトリック河原町教会聖堂

持ち物：聖書 筆記用具

プログラム 10:00~11:00 第1講話  
11:00~12:00 個人黙想  
12:00~13:00 昼食(各自)  
13:00~14:00 第2講話  
14:00~15:00 個人黙想  
15:00~16:00 ミサ

- \* 個人黙想の間にゆるしの秘跡を受けられます。
- \* 昼食時(各自)は会館 1F 集會室をご利用ください。

## 指導司祭 \* 西 経一神父 プロフィール \*

- 1955年 長崎市生まれ、  
伝統的なキリシタンの子孫
- 1983年 カトリック司祭叙階(神言会)  
長崎南山中学高等学校教諭
- 1989年 名古屋市の南山中学高等学校教諭  
・指導司祭
- 1999年 南山中学高等学校(女子部)副校長
- 2008年 南山中学高等学校(女子部・男子部)校長  
現在に至る

西経一神父は、学校教育の傍ら、長年全国の多くの修道会や教会で黙想指導をしておられます。

1995年から京都教区聖書講座の講師を務めていただき、聖書を通してすばらしいメッセージを伝えてくださっています。受講者からは、「西神父様のユーモアに満ちた分かりやすい講話を聴くと、笑いと涙と感動がこみあげてきて、生きる元気をいただける」という感想が数多く寄せられています。



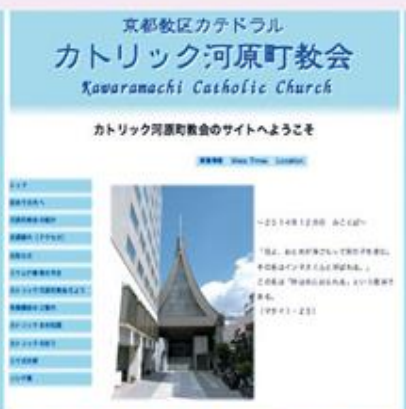
## 河原町教会ウェブサイトがリニューアルします

待降節第一主日の11月30日に、教会の“ウェブサイト”をリニューアルします。広報部ウェブサイト委員が力を合わせ、時間をかけて試行錯誤し、新サイトのスタートにこぎつけました。

教皇フランシスコは「2014年 世界広報の日」のメッセージの中で、「大胆にデジタル世界の市民となりましょう。教会は、コミュニケーションの世界に関心をもち、その中に存在していなければなりません。そうすることにより現代の人々と対話し、その人々がキリストと出会うよう助けるのです。」と語っておられます。

この新サイトが教会・教区の皆様やキリスト教に関心のあるたくさんの人々の元へ届き、神様と出会うための助けとなることを願っています。

[広報部]



新サイトのトップページ(イメージ)

- ③ブロック合同教育部会 山科教会において成人の部ミーティングが開かれ、各小教区の現状報告と協議を行った。
- ④その他 十月四日~五日の教区主催「青年のための黙想会」に河原町教会から四名が参加した。十二月六日に待降節黙想会を行う。
- ⑤キリシタン研究会 十月四日の堺への巡礼参加者は二十六名で、キリシタン関連史跡十七箇所を巡り無事終了。来年度のミサ・巡礼や行事も計画中である。日本の聖人福者への信徒の意識向上が課題である。
- ⑥ザビエル訪れ会 来年度の訪問計画を立案中である。
- 施設管理部 十一月三十日(日)に教会美化デーを行う予定。
- 広報部会 本評議会において来月リニューアル予定の新ウェブサイトを開き、評議会にて承認を得られた。
- 行事予定
  - 四ページの行事予定欄に記載。
  - 協議事項
    - ◇ クリスマス実行委員会からの報告
    - 聖堂内の祭儀のライブ放映に先立ち十月二十五日夜ミサと二十六日十時半ミサにおいてテスト実施の予定。前庭の飾りについても準備が進展している。
    - 「しおり」の巻頭言は鶴山神父に依頼。
    - ◇ 補聴設備設置について
    - 仕様確認の後、正式発注は終了した。工事日程予定の連絡待ち。
    - ◇ ミサの聖書朗読希望者への対応
    - 改めて聖書朗読希望者を書面で募る方向で、募集用紙案の検討を行った。
    - ◇ その他
    - ミサ中やミサ前後に聖堂内での私語を控える等の意識向上を目指したい。

## カトリック：まめ知識

### 11月・「死者の月」とは

#### ◆ 11月1日は「諸聖人」の祭日

カトリック教会では、11月1日を「諸聖人」の日として祝います。聖人とは、キリストへの信仰を持ってこの世の旅路を歩み通し、今は天の御父のもとで永遠の生命にあずかっている人たちのことです。この日には、特定の聖人だけではなく、名前が知られている聖人、あまり知られていない聖人など、すべての聖人をお祝いします。

#### ◆ 11月2日は「死者の日」

また教会は、諸聖人の祭日を祝った次の日の11月2日を「死者の日」として記念します。

亡くなったすべての人が、神さまの憐れみによって永遠の安らぎを得ることができるようにと特別に祈る日です。

死者のための祈りが典礼の中に現れたのは、3世紀の初め、地中海に面したカルタゴにおいてです。もともと死者のために祈る習慣は、初期キリスト教の時代からあり、4世紀には東方教会で、8世紀には西方教会においてミサの奉献文に取り入れられるようになりました。

現在の「死者の日」の起源は、998年にフランスのベネディクト会・クリューニー修道院において、この日

を帰天したすべての信徒のための記念日と定めたことにあります。そして、この習慣は徐々に教会全体へと広まっていきました。



フラ・アンジェリコ「マリアと聖人」

#### ◆ 11月は「死者の月」

日本では「死者の月」と言っていますが、この表現はヨーロッパやアメリカでは使われず、「靈魂の月」(魂の月)という言い方をします。この表現をすることで「死」は終わりではなく新しい始まりであり、「死」の後には肉体を離れた「永遠の生命」があるということを示そうとしているのでしょう。

そして、わたしたちは生者と死者との連帯関係にあり、その連帯関係は「聖徒の交わり」を土台としています。「聖徒の交わり」とは「聖なるものの分かち合い」・「聖なる人々の交わり」という意味を持ち、これがまさに「教会」なのです。深い敬

愛の心をもって祈る死者のための祈りは、同時に、死者がわたしたちのために祈り、執り成しをしてくれるという意味合いをも持ちます。

### 「死から命へ」

～イエズス会無原罪聖母修道院のウェブサイト“せせらぎ”から～  
(<http://seseragi-sc.jp>)

「生命あるものはすべて死に向かっていく。海に向かって流れて行く川のように、命も死に向かって流れ、死の内に消えてしまうように見えるのです。しかし死は終わりではありません。

イエスはこう言われました。「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」。これは自然界の現象と言えましょう。冬は自然が死んでいるかのように見えます。多くの木には生命がないように思われます。しかし、春になると生命の力が現れてきます。葉が出て、花が咲き、実を結びます。

目に映る世界では、命から死への流れが強く見られます。けれども本当のプロセスは、死から命への動きではないでしょうか。多くの人々は体が衰えてくると、もう終わりが近づいたと感じます。気力が優れていない時も同じように感じます。しかし、人は本能的に、生きたいと願うものです。死を超える力、苦しみに打ち勝つ方法を求めています。これはただの願望ではなく、イエスにおいて現実になるのです。」

#### 河原町教会十月評議会報告要約

開催日 二〇一四年十月五日(日)

#### ■ 司祭団の報告

①十月六日～十日まで、軽井沢宣教クララ会で教区司祭黙想会が行われる。指導は溝部脩司教。一場神父が教区に残り、留守中の葬儀等を担当される。②トイレルの改修工事は現在5階と6階で行っている。ご協力をお願いしたい。

#### ■ 敬老感謝ミサと懇親会の報告

ミサ参加者は約百二十名、懇親会参加者は六十七名で、和やかに無事終了した。

#### ■ 部会報告

典礼部 ①シノドスのための祈り、平和の祈りなど、間際の要請であったが対応ができた。②本日からロザリオの祈りを開始した。③日曜日の受付当番について、時間配分等を今後の検討課題とする。財務部 ①維持献金未納者への対応については六十五歳未満の就労者から、書面での協力依頼を開始する。郵送前に教会からのお知らせに予告掲載する。②五部会の本年度予算執行状況と来年度予算案の提出期限は十一月十六日とする。教育部 ①土曜学校 九月二十八日のコーヒートップは盛況であった。収益金は東日本大震災支援金として送る。今月中全員でロザリオの祈りを行う。ウオーカソン支援アピールのスピーチをシスター庄子に依頼した。スポンサー集めは十月二十六日と十一月二日に行う。十一月三日のウオーカソンに参加。②中高生会 十月十九日、遠足で高槻教会中高生と合流し高槻城址、キリシタン遺物資料館などを訪れる予定。ウオーカソンに参加。

## ◆ 2014年11月・12月の行事予定 ◆

(12月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定		
11 月	2 日	〈死者の日〉諸死者追悼ミサ 10:30 教区合同墓参 14:00 衣笠教会・墓苑
	3 月	第35回京都南部ウォークソン 9:30~14:30
	8 土	評議会 11月例会 14:00
	9 日	七五三お祝い 10:30 ミサ
	30 日	溝部司教霊名(フランシスコ・ザビエル 12/3祝日)のお祝い 10:30 ミサ 教会美化デー
12 月	6 土	河原町教会主催:待降節黙想会 10:00~16:00
	7 日	評議会 12月例会 10:30 ミサ後
	14 日	クリスマスチャリティーコンサート 15:00
	24 水	クリスマス市民の集い 18:30 主の降誕夜半ミサ 21:00
	25 木	〈主の降誕〉ミサ 7:00・10:30

旧聖堂の内部

1 ページに記載の  
明治村に保存され  
ている旧聖堂は、  
今もそのままの姿  
です。ぜひ一度、  
聖堂に足を運ん  
でみてください。

クリスマスチャリティーコンサートのご案内

日時：2014年12月14日(日) 15:00から

場所：カトリック河原町教会聖堂

出演者：京都聖母学院小学校 合唱団  
仲尾 佳代子 (チェンバロ)  
山本 真帆 (ハープ)  
東 朝子 (ソプラノ)  
桑山 彩子 (パイプオルガン)  
河原町教会聖歌隊

入場料：1,000円

(東日本大震災復興支援として、全額を京都サポート  
センターに送らせていただきます) 主催:カトリック河原町教会



- ◆ 教会だよりの郵送をご希望の方は、遠慮なく事務室までご連絡ください。  
毎月、広報部から郵送いたします。

## 河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## 信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望  
の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「秘跡を学ぶ」

11月13日(木) 14:00

12月18日(木) 14:00

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

- ◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで  
輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

- ◆ 参加ご希望の方は、事務室までお  
申し込みください。10時からミサがあ  
ります。どなたでも自由にご参加く  
ださい。